

とみおかまち



vol.20

[発行日]
2023年6月2日



福島県
富岡町

支援員だより

発行 富岡町県外避難者支援拠点事務所 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-21 一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会 内

お困り事など、どうぞお気軽に！
連絡待っているっぴ



TEL 048-832-0600

FAX 048-833-8746

MAIL tomioka_saitama@eos.ocn.ne.jp

令和4年度の活動を振り返って

令和4年度の事業は、前年・前々年に引き続き新型コロナウイルス感染症に対処しながらの一年となりました。各地域で予定していた交流イベントなどは、感染拡大を防ぐため開催することができませんでしたが、皆さまのご理解もいただき概ね一年を通して戸別訪問を継続することができました。また、3年ぶりに開催された「えびす講市」や「桜まつり」パスタツアーも再開することができ、富岡町との繋が

りや変わりつつある復興状況を直接ご案内することができました。

戸別訪問などで皆さまからいただきましたご相談・ご意見は下表のとおりです。これからもより多くの皆さまへの訪問を予定しております。訪問の希望がございましたら富岡町県外避難者支援拠点事務所までご連絡ください。

相談内容	件数
病気やケガ	26
土地と家	20
両親・子供・親族	13
コロナで会えない	12
知人がいない	10
お墓の話	8
賠償金	7
ご近所トラブル	5
前向きに生きる	4
知人が心配	4
訪問にやっと来た	3
税金	3

	訪問数	訪問都道府県			
6月	9	茨城県	千葉県		
7・8月	13	神奈川県	千葉県		
9月	9	茨城県	神奈川県	千葉県	
10月	20	茨城県	埼玉県	神奈川県	静岡県
11月	15	茨城県	東京都	栃木県	
12月	33	茨城県	群馬県	埼玉県	東京都 栃木県
1月	17	茨城県	宮城県	千葉県	東京都
2月	18	茨城県	埼玉県	静岡県	
3月	8	三重県	大阪府	愛知県	新潟県

みんなに会うため
訪問するっぴ！



富岡町「桜まつり」ツアー

4月7・8日に富岡町第二中学校跡地などを会場とし「桜まつり」が盛大に開催されました。富岡町県外避難者支援拠点事務所では、東京・埼玉を発着とする「富岡町桜まつりツアー」を4月7日と8日の1泊2日の日程で行いました。生憎今年の桜前線は観測史上最速級で進んだことや直前の強風により既に葉桜となってしまいました。さらにツアー期間中は悪天候の予報が出ておりましたが、運よく雨に降られることもなく「さくら YOSAKOI 天花」や「渡辺俊美ステージ」で盛り上がり、活気ある富岡町が戻ってきたと実感しました。また会場では久しぶりの再開を喜ぶ町民同士の姿も見られ、震災から12年が経った今でも古里でのイベントが人と人をつなげる貴重な機会となっていると感慨深い思いで参加しました。



ふるさとの
桜は
格別！

桜まつり前日にはホテル蓬人館(小浜地区)でツアー参加者同士の交流会を行い懇親を深めました。山本育男町長にも駆けつけていただき、労いのお言葉や復興状況をご説明いただき、皆さまも熱心に聞き入っていました。また、山本町長には質問や意見にも真摯に答えていただき有意義な交流会となりました。

支援員に対しても、引き続き多くの避難者を訪問するなどし、寄り添った対応に務めるようお言葉をいただきました。支援員一同気を引き締めて支援事業を進めていくことを誓いました。





各支援団体との連携

県外避難者支援拠点事務所では、茨城県の「ふうあいネット」・千葉県の「ちば市民活動・市民事業サポートクラブ」・神奈川県「かながわ避難者と共にあゆむ会」などの支援団体や福島県が全国各地に設置している復興支援員と連携し、富岡町の復興状況を伝えたり避難されている方に共通するお悩みを共有しています。「支援団体が主催する交流イベントに参加したい」「避難先の地域の方と交流したい」といったご要望がございましたら、ご遠慮なく富岡町県外避難者支援拠点事務所まで連絡をしてください。




頑張る富岡町民に エール

人力車&昭和レトロ 新風亭レポート





遠藤 良一さん(清水前)が昭和初期の街並みや日常生活の様子を再現し、運営する「昭和レトロ館(栃木県那須町)」を訪れました。

えんどう商店・らいと写真館・喫茶スマロなど富岡町の街並みが再現されていました。また、人力車・懐かしいレコード・映画のポスター・映画館もあり、昔懐かしい雰囲気、古き良き時代、懐かしい遠い昔の思い出が目の前に蘇る素敵な場所でした。

遠藤さんは、若い頃から和太鼓演奏や消防団員として活躍され、震災以降は昭和レトロ館の設立・運営や人力車で各地のイベントを盛り上げており、「くよくよしないで前向きに生きる」のがモットーと話されていました。

とちぎ「ふくしまあじさい会」の交流会に参加して

2月9日に下野市のコミュニティセンター友愛館にて開催された交流会に参加しました。交流会には36名が参加し、富岡町からはご夫婦2名が参加され、地元の支援者も2~3名おられました。まず会長からの挨拶では、第5次追補賠償金と高速道路無料化の件などの話があり、その後ビンゴ大会があり大盛況でした。特に栃木のイチゴ「とちあいか」を目当てに大いに盛り上がりました。富岡町のご夫妻も「とちあいか」を手にする事ができました。皆さまが景品を手に取り笑顔で喜ぶ姿を見ることができました。

ビンゴ大会の景品は
栃木のイチゴ
「とちあいか」でした！



この日はNHK宇都宮放送局が3.11の震災特集で熱心に取材活動をしていました。また、栃木県の支援団体「とちぎボランティアネットワーク」で、ラジオパーソナリティをしている大学生も交流会に参加していました。「ふくしまあじさい会」の交流会に、今後富岡町からの避難者されている方がより多く参加でき活動が広がって行けば良いと感じました。



編集後記

昨年度の前半は、新型コロナウイルスで思うような活動ができませんでした。7月以降は戸別訪問ができるようになり、皆さまのお宅にお伺い致しました。温かく迎えていただき有難うございました。今年は4月から訪問を開始しております。桜まつりツアーも

開催し、参加者の皆さまにも喜んでいただきました。今年もえびす講市に合わせたツアーを開催する予定ですので、皆さまの参加をお待ちしております。

※本紙に掲載の写真は写真撮影時のみマスクを外しています。